

The Japan Interior
Designers Association
Monthly Report
No.234
Oct, Nov, Dec, 2006

JID news

JID月報：通巻234号
平成18年10月・11月・12月号
発行日：平成18年12月31日

発行：(社)日本インテリアデザイナー協会
〒163-1008 東京都新宿区西新宿3-7-1
新宿パークタワー8F
電話 03-5322-6560 FAX 03-5322-6559
発行人：川上玲子

社団法人日本インテリアデザイナー協会

目次

JID創立50周年記念事業〈案〉



平成18年度 第3回・第4回理事会報告……………	2
香港デザインEXPOに招かれて……………	8
委員会報告(国際委員会)……………	8
// (情報委員会)……………	9
// (総務委員会)……………	10
MEMBER'S SALON……………	11
トピックス……………	12
支部活動報告(九州事業支部)……………	14
// (中部事業支部)……………	14
// (関西事業支部)……………	15
// (関東事業支部)……………	18

新会員紹介……………	19
事務局からのお知らせ……………	19

JID創立50周年記念事業

JID創立50周年記念事業〈案〉

仮テーマ：[原点]— ころのデザイン・魅惑のデザイン—

理事長 川上 玲子

12月1日の理事会前に記念事業特別委員会を開き、以下のような大筋の企画案を検討、理事会に提出しました。今後、更に委員会で検討を重ね実行委員会を来年早々には立ち上げ、会員の皆様にも参加して頂き、準備段階に入って行きたいと考えていますので興味のある委員会への積極的な参加をよろしくお願い致します。今回は紙面の都合上、大筋案の経過報告ですが詳しい企画書は実行委員会が立ち上った段階でお送りすることになると思いますのでご了承下さい。

企画概要(抜粋)

日本のインテリアデザイン界をリードしてきた先人たちの活動を基盤とし「原点」をテーマに“心のデザイン・魅惑のデザイン”を企画します。より豊かで美しい住環境と生活文化の成熟にデザインがさらに深く関与し、市民の立場に立ちつつ、産業文化の発展にデザインがますます寄与していくことを願い展開するものです。

事業計画「案」

- 意見広告—— 会員意識の向上と豊かな暮らしをプロの視点から提案
- JID全国室内学校 2008—— 幼児から熟年まで市民と考える住環境
☆人材教育と産業への貢献 ☆JID各支部、アジア、ヨーロッパとの連携によるワークショップ展開
- 展覧会—— 創立時のデザインの原点の再認識と未来へ繋がる新しいデザイン
- 出版—— 未来に受け継ぐデザインの記録
☆JID50年デザインの記録 ☆未来へ受け継ぐデザイン
- セミナー—— こと・ひと・ものづくりネットワーク
☆さまざまな関連団体、企業との相互交流・協力の基盤を作る ☆開催テーマと関連させたタイトル構成
- メモリアルレセプションパーティー—— シンポジウムを合わせて開催

理事会

平成18年度 第3回理事会

日時：平成18年9月29日(金) 15:00～18:00

場所：社団法人日本インテリアデザイナー協会

OZONE 会議室

出席：理事長 川上玲子
副理事長 岩倉榮利
理事 安藤清、吉良ヒロノブ、酒井正人、
清家淳一、丸谷芳正、村口峯子、
山永耕平、山本棟子
委任出席 小宮容一
監事 川上信二、(欠席)宇賀敏夫

I 報告事項

- [1] 各事業支部及び本部各委員会事業推進状況
- [2] 平成18年度収支状況報告(8月末)
- [3] その他
 - 1. 財務運営資金繰り
 - 2. 経済産業省 業務及び財産状況検査結果報告(速報)
 - 3. 公益法人改革の概要
 - 4. 年間会員異動状況
 - 5. 次回会議予定
JID創立50周年記念事業 企画委員・役員合同会議
平成18年12月1日(金) 13:30～14:50
平成18年度第4回理事会
平成18年12月1日(金) 15:00～18:00

II 議題

- 第1号議案 後援・協賛名義承認の件
- 第2号議案 会員入退会承認の件
- 第3号議案 議事録署名人選任の件

峰尾事務局長より「理事総数11名本人出席10名、委任出席1名で本理事会は成立した」旨報告、川上理事長が議長となり議事に入った。

I 報告事項

- [1] 各事業支部及び本部各委員会事業推進状況

◆関東事業支部(村口)

- 1. 事業委員会
9月10日 セミナープロジェクト「きらりと光るリフォームセミナー」酒井正人会員設計住宅見学会実施、多くの人が参加した。
7月20日 市町村支援事業、結城市の祭り見学、新

リーダーを小野上会員に移行、今後 NPO 結城街並み研究会との意見交換と市長への紹介ルートを見つけた。

9月9日 結城市 NPO 及び市長への戦略検討。

2. 研究委員会

Table Design 展会議を8月10日、28日、9月13日、28日実施、展示見積もり及び要員確保等検討。

3. 総務委員会

8月26日 ACT 関東の方向性について検討、活動が見えない等あり意見交換、その後新入会員9名加入。
8月24日 JID パートナース関東第2回トレンドセミナーを日本橋ドマーニショールームにて実施、賛助会員丸光商店及び風呂敷の美濃部氏に風呂敷と照明のコラボレーションについて50名参加。
その他、IPEC21-2006に関し、IPEC より3m×3mの小間提供があり関東事業支部に協会事業のPR展開を理事長より依頼。

4. 交流委員会

9月30日 手作り体験プロジェクト、ガラス作品観賞及び四国イサムノグチ、ジョージナカシマ、桜木工見学ツアー検討予定。

5. 情報委員会

関東ホームページリニューアルの周知と本部情報委員会との交流。

◆中部事業支部(安藤)

- 1. 7月20日 インテリア連絡会実施インテリアアワード展検討。7月24日 7月度役員会・連絡会実施。7月28日 CCDO 理事会をデザインセンターで実施(デザイン事務所ポータルサイト、名古屋市デザイン活用支援事業等検討)。
- 2. 8月21日 CCDO 新規事業第1回会議。8月28日 8月度役員会・連絡会(全国インテリアアワード展・HP画面更新・ものづくり探訪等検討)。
- 3. 9月14日 第8回インテリア連絡会実施。9月22日 9月度役員会・連絡会実施。
今後の予定

- 1. 10月17日 10月度役員会・連絡会予定。10月19日～22日名古屋デザインウィーク。
- 2. 10月25日～30日 06全国インテリアアワード展予定。11月18日 11月度役員会・連絡会。

◆関西事業支部(清家)

- 1. 総務委員会
8月22日(火) 第3回運営委員会開催。10月11日(水) 第4回運営委員会開催予定。
- 2. 事業委員会
9月5日(火) 委員会開催、「重点商品企業説明会」に関し企業への説明会実施及び「空間デザイン展」事前打合せ会開催(賛助会員サイレントグリス参加)。

9月30日(土) 第7回「企業による新製品・重点商品説明会」開催予定、及び「日本の空間 2008 & 学生賞」検討、ならびに愛媛県松山市にて交流会開催を決定。

3. 情報委員会

ホームページアップ後に次回特別委員会開催予定(HP仮立ち上げ実施)。

4. 研究委員会

8月24日(金)「終のすみか」研究委員会開催。9月28日(木)「小学校におけるインテリア教育実験実習」最終(京都市立)を検討。

5. USD-O (大阪デザイン団体連合機構)

9月19日(火) 理事会に清家支部長出席。

6. JID-ACT Kansai

10月11日(水) 交流会開催予定。

7. その他

9月9日(土) (社)総合デザイナー協会(DAS)創立50周年記念式典、清家支部長出席。

◆九州事業支部(山永)

1. 9月15日(金) 賛助会員エーディコア・デバイズ福岡事務所開設、パーティ参加。

2. 9月22日(金) (財)大川産業振興センター、(協)大川家具工業会主催「全国高等学校インテリアデザイン展」デザインコンペ・デザイン甲子園審査会参加、審査員に山永耕平理事、飯田一博支部長他で実施、JID協会理事長賞を出す。

3. 9月27日(水) 役員会開催

1) 例会の定期開催、計画予定の月日、場所、世話役等の検討と決定。

2) 九州事業支部事業計画の検討。

①「2007or 2008 九州インテリアデザイン展」の計画

② 第2回学生ファニチャーコンペの計画

③ JID創立50周年記念年事業へ九州事業支部の参加、「JID賞巡回展」等について検討、行事について相乗りが多く独自の企画が難しい。

④ 九州事業支部のHPの内容検討。

⑤ その他

4. 10月下旬 第2回例会開催予定。

◆本部総務委員会(丸谷)

1. 委員会 7月18日、9月19日の2回実施。

2. 各事業支部へのビジネスパートナーズ スターティングキャンペーンの実施呼びかけ検討。

3. 8月24日 関東事業支部トレンドセミナーの場を借りて「ビジネスパートナーズ スターティングキャンペーン」実施。

4. JID ビジネスパートナーズ説明文書、配布の最終確認実施。

5. 本部情報委員会、賛助会員との連動を検討。

6. ベネフィットワン、18年度更新作業の実施。

◆本部国際委員会(酒井)

1. APSDA 関連

2006年11月22日～25日マレーシア(クアラルンプール)で開催、今年のテーマは「Inspired Spaces — Old is New」、会議にJIDより酒井国際担当理事及び坂本前担当理事を派遣。

その他 APSDA アワードが急遽決まり実施、ただ時間がなくJID 関係参加は無理。

2. CHAINA 関係

APIDA (Asia Pacific Interior Design Awards 2006) にJIDはサポートオーガニゼーションになることを了解し、アワードのデータによる審査をJID 選考委員会が担当。

3. セミナー関連

島崎信氏がプロデュースされ、今年北欧3会場を巡回した「Japanese Cool」展の報告会を9月19日にカンディハウス新宿ショールームにて開催。参加者50名、JID 会員、JIPAT 会員、学生など参加があった。

4. 今後の予定とし、11月2日にスイスのデザイナーが来日でセミナーを計画、スイス大使館等の後援を打診する予定。

◆本部情報委員会 インターネット(吉良)

1. 各支部ホームページの管理とwebサーバーの管理について

原則として本部・支部ともwebサーバーは一括管理する方向で検討。内容更新は本部・各支部に管理責任者を置き、各自の責任において更新を行う。(サブドメイン管理は行わない)

管理責任者に同一パスワードを発行、セキュリティ管理は本部・支部とも共同で責任を負う。

2. ホームページのデザイン改定について

本部ページは時代の傾向にあわせ、検索ヒットの安定化を図るため、フレームを使用しないデザインに変更する。

本部・支部ページともトップページは統一感を持たせるため、タイトル部分のデザインテンプレートを作成の上共通化、以降のページデザインは各支部に移管。(表紙の統一、費用は本部情報委員会)表紙は11月一杯でアップ。

関西事業支部より本部サーバーに入れることの要求あり、本部ページからのリンクは直ちに行うこととした。

3. 本部ページの内容追加改定について

JID 創立 50周年ロゴ、Table design 展、JID ビジネスパートナーズ等掲載、その他参加企業のリンクページの追加及び事務局に依頼のあった企業・団体等のリンクを追加。

◆本部情報委員会 JID News (清家)

1. JID ニュース 233号 10月初旬発行。

2. 今後の予定

JID ニュース 234 号を 12 月末発行予定で準備、原稿の締切り厳守のお願いと MEMBER'S SALON への積極的投稿をお願い。尚、原稿の有無フォーマット(確認表)を流す。

◆選考委員会(岩倉)

1. JID 賞の企画について

- 1) 賞の概要は前回のものを踏襲するが、細部については今後検討。
- 2) 作品が現存すべきかどうか、について当該期間の日本国内で完成・発表された作品で、作品が現存することを前提として、応募要項に明記。

2. 特別審査員について

- 1) デザイン系：建築家、一般誌：新聞社文化部記者、専門誌等で交渉。
- 2) 最終審査日程を来年 11 月 5 日～15 日で検討。

3. JID 賞デザインフォーラムの実施を計る。

- 1) 日程は 2007 年 1 月～2 月を目標にパネラーを調整。
- 2) パネラーは 2006 JID 賞受賞者に依頼の予定。
- 3) フォーラムのテーマ「楽しむデザインー 建築からプロダクトまで」で若手デザイナー達の気質を考え、伸び伸び語ってもらうテーマとした。
- 4) フォーラムの場所、日時の大枠を押さえ主催・会場を交渉、実施計画を作成。

4. APIDA(アジア太平洋インテリアデザイン大賞)の審査依頼があり、実施する。10 月 23 日に予選を通過した 100 点が JID に到着の予定で、10 月 26 日に審査。

◆事業推進(小宮理事欠席、岩倉、吉良、山本)

1. JID 創立 50 周年記念事業への参画。

2. JID 賞の支部巡回展のサポート

- 1) 中部事業支部：10 月 25 日～30 日「全日本インテリアデザインアワード展」国際デザインセンターで予定。
- 2) 関西事業支部：12 月 7 日～12 日「日本の空間デザイン展」ATC アジアトレードセンターで予定。
- 3) 九州事業支部：19 年 1 月九州デザインコンペ(株)アダルで予定。

[2] 平成 18 年度収支状況報告(8 月末)

平成 18 年度収支状況(8 月末)について事務局長より報告。

[3] その他

1. 財務運営資金繰り(9 月末)について事務局長より報告。
2. 経済産業省 業務及び財産状況立ち入り検査(定例—3 年に一度)が 9 月 26 日に実施された結果を川上監事より報告、全般として良好であるが、細部について一部は正の指示が口頭であった、又今後公益法人制度改革について資料に基づき検討するよう指示

あり。

3. 公益法人改革の概要を役員に配布今後討議のため熟読をお願い。

4. 年間会員移動状況について事務局長より報告。

5. 次回理事会日程

平成 18 年 12 月 1 日(金) 15:00～18:00

議長は報告事項について了承を求め、理事会はこれを了承した。

II 議題

◆第 1 号議案

後援・協賛名義承認の件(7 件)

- ・平成 18 年度地域有望産品輸出・産業育成支援プログラム「インドネシア一村一品」＜専門家推薦・継続＞
- ・シンポジウム「ヨーロッパ・ウッド・デー」＜後援・新規＞
- ・「建築・建材展 2007」(第 13 回) ＜協賛・継続＞
- ・JAPAN SHOP 2007(第 36 回店舗総合見本市) ＜協賛・継続＞
- ・「ライティング・フェア 2007」(第 8 回国際照明総合展) ＜後援・協賛＞
- ・「第 21 回全国高等学校インテリアデザイン展」 ＜賞状交付・継続＞
- ・大川総合インテリア展「華胥の夢博 2006」 ＜後援・継続＞

議長は承認を諮り、いずれも異議なく承認された。

◆第 2 号議案

会員入退会承認の件(3 件)

- ・正会員 入会(2 件)
藤本文明(関東) 推薦人：泉修二、川上玲子
太田一彦(中部) 推薦人：小宮三辰、安藤清
 - ・正会員 退会(1 件)
1149 與良博孝(関東)
- 議長は承認を諮り、異議なく承認された。

◆第 3 号議案

議事録署名人選任の件

議長は山永耕平、安藤清 両理事の承認を諮り、異議なく承認された。

社団法人日本インテリアデザイナー協会 平成 18 年度第 3 回理事会に関し、定款第 6 条に基づき、議事経過及び議決事項を記すため、議長と議事録署名人が記名捺印する。

議長 川上玲子

議事録署名人 山永耕平、安藤清

理事会

平成18年度 第4回理事会

日時：平成18年12月1日(金) 15:00～18:30

場所：社団法人日本インテリアデザイナー協会

OZONE 会議室

出席：理事長 川上玲子

副理事長 岩倉榮利、小宮容一

理事 安藤清、吉良ヒロノブ、酒井正人、
清家淳一、丸谷芳正、村口峯子、
山永耕平、山本棟子

監事 宇賀敏夫、川上信二

I 報告事項

[1] 各事業支部及び本部各委員会事業推進状況

[2] 平成18年度収支状況報告(10月末)

[3] その他

1. 財務運営資金繰り

2. 次期理事会予定 平成19年1月26日(金)

3. 2007 ニューイヤーズパーティ 平成19年1月26日(金)

4. 平成18年12月～平成19年5月及び予算作成スケジュールについて

5. 年間会員異動状況

6. JID 創立50周年記念事業について

峰尾事務局長より「理事総数11名、出席11名で本理事会は成立した」旨報告、川上理事長が議長となり議事に入った。

II 議題

第1号議案 後援・協賛名義承認の件

第2号議案 会員入退会承認の件

第3号議案 議事録署名人選任の件

I 報告事項

[1] 各事業支部及び本部各委員会事業推進状況

◆関東事業支部(村口)

1. 事業委員会

10月1日 セミナープロジェクト「キラリと光るリフォームセミナー」21名参加 OZONE で実施、講師 前田敦。

11月12日 同上セミナー 23名参加、講師山本棟子で実施。

10月21日 市町村支援事業、結城市時代祭見学 NPO 結城町並み研究会会長と意見交換及び TOM 川添氏と意見交換、JID デザイン町並みイメージ看

板と60数店に実施されたのれんを確認。

11月17日 結城市時代祭見学の報告及び今後について討議。

11月22日～25日 IPEC21 に JID ブース出展、JID の PR と Table Design、ワーク集等出版物を販売。担当佐藤支部長他

11月22日～25日 JAPNTEX に出展依頼が(社)日本インテリアファブリックス協会あり「布バー」を出展、テキスタイル主体にデザインを展開、JID 山川富喜子、藤井昌男、石川和人3会員が担当。

2. 研究委員会

11月7日、8日 テーブルデザイン展設営(OZONE、3F～6F)実施。11月9日～12月5日まで4週間実施。

3. 交流委員会

10月7日 手作り体験プロジェクトガラス製作の反省会と今後の予定検討。

4. 情報委員会

関東ホームページにテーブルデザイン展及び IPEC 21 2006 を広報。

5. 支部委員長会議

11月18日 テーブルデザイン展集客について討議及び IPEC 21 の展示内容の確認と会場担当確保について討議。その他関東事業支部月間収支報告。

◆中部事業支部(安藤)

1. 10月16日 10月度役員会・連絡会にて全国インテリアアワード展、HP 画面更新、インテリア連絡会報告実施。

2. 10月19日～22日 名古屋デザインウィークでショーウィンドーコンペ・ライブマーケットコンペ審査。

3. 10月25日～30日 「全日本インテリアアワード展 '06」実施、来場者400名。

4. 11月17日 第9回インテリア連絡会実施。

5. 11月22日 11月役員会・連絡会実施、名古屋コンランショップ開店紹介他討議(コンランショップにて)。

今後の予定

1. 12月16日 12月度役員会・連絡会を家族の椅子ショールームで予定。

2. 1月16日 1月度役員会・連絡会予定。

3. 1月24日 インテリア互例会を千種メルパルクで予定。

4. 2月9日 宇賀敏夫会員 Dr 授与お祝い会を千種メルパルクで予定。

◆関西事業支部(清家)

1. 総務委員会

10月11日(水) 第4回運営委員会開催、今スパンはイベントが多いため各々スケジュール確認。

12月15日(金) 第5回運営委員会開催予定。

2. 事業委員会

9月30日(土) 第7回「企業による新製品・重点商品説明会」開催、参加者20名企業3社8名。

9月30日(土) 第2回事業委員会上半期企画会議開催、上記商品説明会の反省と今後の対策検討。

「日本の空間 2008 & 学生賞」の各賞予の算検討。

12月12日(火)「日本の空間デザイン 2006 ラストパーティ」 「学生賞表彰式」開催予定。

平成19年3月めどに「愛媛の企業との交流」の企画化検討。

3. 情報委員会

9月30日(土) 特別委員会・編集委員会開催、関西事業支部ホームページアップの報告。

11月1日(水) 編集委員会開催、e-mail ECHO 創刊号の総括、次号は1月10発行予定。

4. 研究委員会

9月28日(木) 第3回研究委員会開催、「単位(家族)」での暮らしを終えた[「個」空間]をデザインする叩き台プラン検討。

10月26日(木) 第4回研究委員会開催、アンケート調査の検討。

11月30日(木) 第5回研究委員会開催予定。

5. USD-O (大阪デザイン団体連合機構)

9月19日(火) 理事会に清家支部長出席。

6. JID -ACT Kansai

10月11日(水) 交流会開催。10月15日神戸異人館見学実施。

その他、JIDA 主催「和紙を漉いて灯りをともし」展に協力、山崎会員が講師として参加。

「ギフトショー」に清家支部長、高瀬事業委員長参加。

◆九州事業支部(山永)

1. 第2回役員会 9月27日(水)

1) 例会の定期開催

2) 支部事業計画について

2007 九州インテリアデザイン展の計画、第2回ファニチャーデザインコンペ、「JID賞の巡回展」等について討議。

2. 9月22日(金) (財)大川インテリア産業振興センター主催「華胥の夢博 2006 コンテスト」審査、審査委員長山永耕平理事、審査員 飯田一博支部長他で実施。

3. 第2回例会(福岡) 10月28日(金)

1) 福岡に6月オープンした茅葺の家のレストラン「茅乃舎」の見学と食事。

2) 前賛助会員だったソーシャル環境開発が開発した福岡近郊の大型商業施設「トリアス久山」見学。

3) 欧州研修報告会、講師 山永耕平理事で学生研修にて欧州見学「デンマーク、イギリス、フランスの新しい欧州の動き」を報告。

前崎彌生(九州事務局)が「デンマーク、ドイツエコツアー」に参加、自然エネルギー研修ツアー報告。

4. 11月25日(金) 第3回例会(日田)を実施「日田市総

合文化施設建築現場」を視察、(有)香山壽夫建築研究所所長の案内と説明を受ける(一般参加者合流)。その後交流会実施。

5. 19年1月下旬 第2回学生ファニチャーデザインコンペ開催予定及びJID 賞巡回展を(株)アダルショールームで開催予定。

6. 19年3月 第4回例会(山口)を予定。

◆本部総務委員会(丸谷)

1. 10月度本部総務委員会開催 10月18日(火)

インターネットなどで協会退会者が会員名称を使用しているケースがあり、どう対処するかが提起されたが、理事会にては、今後退会者に対し退会承諾文書等に名称使用の終了を伝え個人 HP 等の記載削除のお願いを明記することとした。現在使用中のものに関しては今後の経過を見て検討。

2. 11月27日(火) ビジネスパートナーズ、スターティングキャンペーンについて

パートナーズ企業の事業支部別担当者を各事業支部担当理事に11月末送付。各事業支部において会員拡大・スリーブ会員の掘り起こしとリンク出来るような具体案の検討をお願い。

3. JID ニューイヤーズパーティを平成19年1月26日(金)に予定。

◆本部国際委員会(酒井)

1. APSDA 関連

11月22日からマレーシア・クアラルンプールで開催された総会にJID から酒井正人国際担当理事及び坂本和正国際委員が出席、今後報告会を予定。参加国はマレーシア(主催国)、台湾、日本、韓国、香港、フィリピン、シンガポール、インドネシア、オーストラリアの9カ国他2であった。

2. セミナー関連

11月2日(木) JID Meet the worldを開催、新宿住友ビル 47F 住友スカイルームにて藤村盛造会員の紹介で、スイス・ルツエルン芸術造形大学学長ニコラス・ヴィス氏による講演会「スイスデザインポリシーを語る」を実施、並びにパネリストとして川上理事長、浦一也 JIPAT 会長が参加、スイス大使館の後援をいただいた。参加者 60 名弱。

終了後、後援をいただいたスイス大使館より、ワイン、チーズ、ハムなどの提供があり充実した会となった。

3. 香港イノベーション&デザイン・エキスポ (IDE) 2006 が開催されその中で香港インテリアデザイン協会 (HKIDA) 主催「14 th Asia Pacific Interior Design Awards (APIDA) 2006」が同時開催されました。この Awards に関してはアジア各国のデザイン団体が審査に参加、JID もその1団体となり選考委員会が映像データにより採点を行なった。

大賞発表にあたり理事長が香港貿易発展局の招待で参加し、イベント全体の印象として相当活発な活動が行なわれているとの報告があった。

◆本部情報委員会 インターネット(吉良)

1. 新ホームページのデザイン改定について

本部ページのデザイン改定が完了、11月30日公開。
本部・支部ともトップページの統一感を持たせるため、タイトル部分のデザインテンプレートサンプルが完成。
今後各支部と調整、デザイン統一に向けて進行予定。

2. 現行ホームページの内容追加、改定について

JID創立50周年ロゴをトップページに掲載した。
JID創立50周年プレイベント「テーブルデザイン展」の開催をトップページ掲載と、同パンフレットをPDFにて掲載。ビジネスパートナーズの趣旨説明及び参加企業のリンクページを会員ページに追加掲載。本部事務局に相互リンクの依頼企業・団体掲載は継続。

◆本部情報委員会 JID News(清家)

JID ニュース 234 編集中、12月末発行予定。(理事会議事録、各委員会・支部活動報告)

今後の予定

11月6日(月) 原稿有無確認、11月7日(火) 編集企画会議、11月末 原稿締切(1次)、12月5日(火) 原稿締切(2次)、12月19日(火) 編集校正会議、12月末 発送予定。

JID ニュース 235 号 19 年 3 月末発行予定。

◆選考委員会(岩倉)

1. 10月26日 第4回選考委員会を開催、14th Asia Pacific Interior Design Awards (APIDA) の2次審査をJID選考委員会で実施、採点を香港に送付。審査には選考委員に川上理事長が参加。10のカテゴリーに各10名の作品があった。

2. 次期JID賞の特別審査員にデザイン系で隈研吾氏、専門誌で川崎健二氏が受諾、新聞系を交渉中。

◆事業推進(小宮)

1. JID 賞の支部巡回展のうち中部事業支部は10月25日(水)～30日(月)名古屋国際デザインセンターで実施。
2. 同巡回展を関西事業支部で12月7日～12日「日本の空間デザイン」では開催予定。
3. 九州事業支部は19年1月に予定。

[2] 平成18年度収支状況報告(10月末)

平成18年度収支状況(10月末)について事務局長より報告。

[3] その他

1. 財務運営資金繰りについて事務局長より報告。
2. 次期理事会(18年度第5回)を平成19年1月26日(金)決定。

3. 2007 ニューイヤーズパーティを平成19年1月26日(金) 18:30～20:30で予定。

4. 平成18年12月から19年5月のスケジュール説明と19年度予算作成について説明。

5. 会員の異動状況について説明。

6. JID 創立 50 周年記念事業について

理事会前に行われた事業特別委員会において審議された大筋案を理事会に報告。

議長は報告事項について了承を求め、理事会はこれを了承した。

II 議題

◆第1号議案

後援・協賛名義承認の件(6件)

- 全国合同卒業制作展 てつそん 2007(第7回) <後援・継続>
 - あかりメッセージ 2006(第9回) <後援・継続>
 - 第37回大阪インターナショナル・ギフト・ショー春 2007 <協賛・継続>
 - 第63回東京インターナショナル・ギフト・ショー春 2007 <協賛・継続>
 - サステナブルデザイン国際会議 Destination2026 <後援・新規>
 - TOKYO URBAN LIFE2006 <協賛・継続>
- 議長は承認を諮り、異議なく承認された。

◆第2号議案

会員入退会承認の件(4件)

- 賛助会員 入会(1件)
株式会社ニッケーコー 推薦人:土屋晃一
 - 正会員 退会(3件)
0825 池田慎司(中部) 1057 風岡せい子(中部)
0448 加藤純子(九州)
- 議長は承認を諮り、異議なく承認された。

◆第3号議案

議事録署名人選任の件

議長は岩倉榮利、小宮容一両副理事長の承認をはかり、異議なく承認された。

社団法人日本インテリアデザイナー協会 平成18年度第4回理事会に関し、定款第6条に基づき、議事経過及び議決事項を記すため、議長と議事録署名人が記名捺印する。

議長 川上玲子

議事録署名人 岩倉榮利、小宮容一

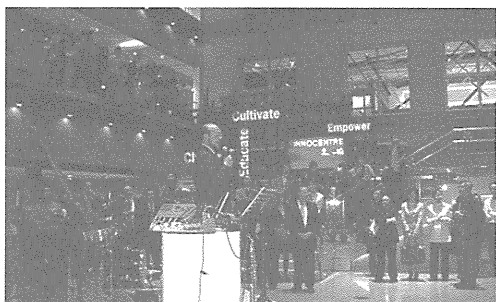
理事長からの報告

香港デザインEXPOに招かれて

理事長 川上 玲子

この11月29日～12月1日まで香港でデザインEXPOとしてファッションも含め、インテリア、プロダクトデザインの展示やセミナー、賞の発表が開催されました。

その内の一つ、香港貿易発展局の主催による「イノベーション&デザイン・エキスポ」にJID理事長としてご招待を頂きましたが、スケジュール的に厳しく初日の主要な部分のみの慌ただしい参加となりました。出展国の北欧4ヶ国とイギリスに加えて参加国のアメリカ、スペイン、スウェーデン、イタリア、中国に交じって、ランチレセプションのVIPテーブルを囲んで語り合えたことは、短い時間であっても創立50周年を迎えるJIDにとって有意義な国際的PRが出来たと自負しています。



レセプション

2006アジアデザイン大賞・記者発表



日本からの出展ブースはJIDAと大阪の成蹊大学、セミナーの主なスピーカーはイギリスのロン・アラッド、日本の杉本貴志、浅葉克巳、スウェーデンデザイン協会会長エヴァ・クムリーンなどによる、「デザイン・ブランド&イノベーション」というテーマで語られたようでした。又、JIDも審査員として参加した、「インテリアデザイン AWARD 2006」や、アジアでもっとも影響を与えるグッドデザインとして「2006アジアデザイン大賞」の記者発表に出席しました。新潟の鉢みやナイフシリーズのブランド、広尾のレストランのインテリア、小田急ロマンスカーの新車両が賞を受けていましたが来年はJID 会員からのノミネートの要請もありました。

今回の香港でのデザインEXPOを見ても、今やアジアは世界の注目のもとであり、中でも日本のデザインは相当な影響を与えているように思えました。

本部 報告

国際委員会

担当理事：酒井 正人
委員長：小野 由記子

APSDA 2006クアラルンプール総会のご報告

国際委員会 担当理事 酒井 正人

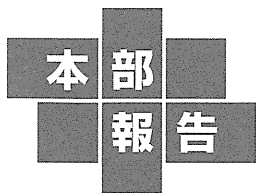
11/22～24までマレーシアの首都クアラルンプールにてAPSDA(アジア太平洋空間デザイナー連合)総会が開催され、JIDからは、国際委員会担当理事の酒井と前理事で国際委員の坂本さんの2名で出席してまいりました。クアラルンプールは成田より空路7時間半、常夏の近代都市で、総会の会場に設定されたKLCCコンベンションセンターは、シーザー・ペリ氏設計の20世紀最高高層建築である88階建てペトロナスツインタワービルに連続したモダンな会場でした。

総会会場



日本・韓国・台湾・香港・フィリピン・インドネシア・シンガポール・マレーシア・オーストラリアの9つのAPSDA加盟組織(インド・タイ・ニュージーランドは欠席)に、中国より新たに北京と広東省深圳市から2つの組織が加盟し、11の国、地域を代表する組織が集まりました。

今回の総会テーマは「INSPIRED SPACES — OLD IS NEW」で22日に総会が開催され、23・24日にはゲストデザイナーや各国の「OLD IS NEW」テーマに基づいたリノベーションやコンバージョンのプロジェクトによるプレゼンテーションが行われました。総会では各国の近況報告、いつも不参加国の今後の対応や、新たに加盟を申し出た2つの組織の加盟について討議し、特に今後中国エリアからの加盟申込みが増えることが予測されるため、慎重な議論が行われました。そして、現在、総会開催国持ち回りで運営されてきた事務作業についても、今後は事務局常設の方向で決定し、その際かかる各国の経費負担等について次回総会開催まで特別委員会を設置して詳細決定することになりました。(現在APSDA加盟による会費等はありません)



総務委員会

担当理事：丸谷 芳正
委員長：伊藤 公一

公益法人制度改革について

監事 川上 信二

公益法人制度の改革について本年9月26日、監督省による「業務及び財産状況の検査」の際、検査員—経済産業省製造産業局デザイン・人間生活システム政策室、室長補佐 野澤篤也、企画2係長 森田僚 両氏より概要の説明を受け、9月29日の理事会に報告、その後、11月7日 D-8 第22回会議の際、同じ経済産業省の両名から説明がありました。当協会としても重要な課題ですので、現在までの情報をお伝え致します。

現状

当協会は1958年日本室内設計家協会として発足、1969年法人格を取得、社団法人日本インテリアデザイナー協会として、経済産業省の管轄の下、社会的に信用の高い活動を行ってきました。

現在デザイン関連の団体では以下の8団体が社団法人としてD-8と略称、横の連係を持っております。

ディスプレイデザイン協会(DDA)、グラフィックデザイナー協会(JAGDA)、クラフトデザイン協会(JCDA)、インテリアデザイナー協会(JID)、インダストリアルデザイナー協会(JIDA)、ジュエリーデザイナー協会(JJDA)、パッケージデザイン協会(JPDA)、サインデザイン協会(SDA)
(何れも頭書の日本を略)

改革の理由

しかし、昨今の公益法人に見られる様々な問題に対処するため従来の主務官庁による公益法人の設立許可制度を改め、登記のみで法人が設立できる制度を創設する(略称・一般社団、財団法人法)とともに、そのうちの公益目的事業を行うことを主たる目的とする法人については、民間有識者による委員会の意見にもとずき公益法人に認定する制度を創設する。(略称・公益法人認定法)

経過

●法案の審議

平成14年3月「公益法人制度の抜本的改革に向けた取り組みについて」閣議決定、その後検討、討議の上、平成18年3月国会提出、5月26日成立。

●法案の公布

平成18年6月2日

●申請期間と施行

公布後2年6ヶ月以内に申請、20年12月施行予定

●施行後の移行期間

施行日から5年間は移行期間とされ、現行の公益法人は、この期間内に必要な手続きを行い、新制度に移行することとなる。手続きをしない場合は解散とみなされる。

以上が経過ですが、すでに法律は公布されています。内容の精査は「総務委員会」「理事会」などを経て会員の総意を待つべきですが、現在配付されている情報の中で、もっとも明解な整理メモが、22回D-8会議に検討段階として「確約ではないが」として示されているので、それを引用します。

【一般法人・一般財団法人】

<メリット>

- ①事業範囲に制限はない。収益事業も可能。
- ②株式の保有が可能。
- ③事業収入の範囲や遊休財産の保持に関する制限はない。
- ④行政の手続きや監督がない。

<デメリット>

- ①税制上優遇が受けられない。
- ②公益法人としての社会的信用力がない。
- ③移行期に公益目的支出計画を作成し、それを実施しなければならない。

【公益社団法人・公益財団法人】

<メリット>

- ①現行の税制優遇が引き続き受けられる。
- ②公益法人としての社会的信用が得られる。

<デメリット>

- ①事業の範囲に制限
- ②株式の保有が出来ない。
- ③事業収入の範囲や遊休財産の保持に関して制限
- ④行政手続き・行政の監督が存在。

最後に行政改革推進本部事務局公益法人制度改革ホームページの以下をご参照下さい。

http://www.gyokaku.go.jp/about/index_koueki.html

MEMBER'S SALON

JIDNewsを彩る会員情報の交流サロンです。メッセージやレポートあるいはエッセイなど、自由に楽しい会員の声をお寄せください。(原則として1,000字以内+写真1〜3枚程度)

家具作りへの思い〜 「家族の椅子」

太田 一彦 中部事業支部

1996年、とある椅子の展覧会に出品した作品に「家族の椅子」という名前を付けたのが事の始まりでした。1961年に私の父親が椅子張りの仕事を創業して以来、職人仕事としてお客様の注文生産の椅子を作り続けてきたわけですが、以来初めて自分の作品を制作、出品する機会に恵まれたのです。展覧会の主催者から作品に名前が必要と言われ、躊躇することなくこの名前を付けました。



太田一彦「家族の椅子シリーズ」

それは潜在意識の中に、家族を結びつける大きな形を表現したかったのだと思います。私の考えていた形はアートでもオブジェでもなく日常生活でのリアリティーでした。椅子は生活道具の中でもとりわけ大きなサイズを持つもので、しかもそうめったに買い換えるものでもありません。さらに理想と現実を語るのはナンセンスだとも思っていました。重要なことは理想を語るよりも身の丈の現実をより豊かで快適にする方法を提案する事だと思いました。そして2005年1月やっとの思いでオリジナルブランド「家族の椅子」と同ショールームをオープンさせるに至り、発表していく私の製品群は全てが「家族の椅子」として展開したいと考えています。

没後80年 森谷延雄 展

開催予告

— 大正時代を駆け抜けた、夢多きデザイナー —
森谷 延周 関東事業支部

私事で恐縮ですがお知らせいたします。

私の父・猪三男の兄である伯父・延雄は、昭和2年4月5日33才5ヵ月の若さで他界しました。

延雄は東京高等工業学校(現・東工大)を卒業。清水組(現・清水建設)設計部を経て、当時の文部省より命ぜられ、英仏米へ木材工芸研究のため留学。帰国後は東京高等工芸学校(現・千葉大)で教鞭を執るかたわら、講演・寄稿・著作・学会活動・作品発表など、精力的に取り組みましたが、過労がたたって病に倒れました。短命でしたが充実し、その姿は「大正時代を駆け抜けた夢多きデザイナーまたはロマンチスト・デザイナー」といったように思います。

このたび縁あって、表記の展覧会の開催企画が伝えられ、私もできる限りの協力中です。

改めてご案内できるかと思いますがお知らせまで。

◆会期：平成19年1月23日(火)〜3月25日(日)

◆会場：千葉県／佐倉市立美術館 2・3階展示室

◆主催：佐倉市立美術館

◆協力：松戸市教育委員会

刻々と変化していく現代社会、まさにデジタルなほどのめまぐるしさの中、家族の豊かさとは人間本来の五感や感情、経験値を互いに尊重しあい、明日の日常生活に豊かな潤いを創造することでしょう。

私たち作り手は、真剣に豊かに日常の暮らしをを愉しむ方々とその続きを一緒になって考えたいと思っています。

ホームページ <http://www.isu.co.jp>

編集委員会からのお願い

なるべく多くの会員メッセージを掲載したいと考えておりますので、1,000字以内+写真2〜3枚の原則にご配慮ください。

「Table Design」展を振り返って

関東事業支部 研究委員会

Table Design 展 実行委員会 委員長 長岡 貞夫

すでに本紙 231号でその概要をお知らせした「Table Design」展は2年余りの準備をへて去る11月9日(木)に開会し、夕刻のオープニングパーティには500余名の方々が出席し、会場は立錐の余地のない賑わいで幸先のよいスタートをきることができました。

「Table Design」展開催に至る経緯を振り返ってみますと、それは企画段階の第一ステージ、調査研究の第二ステージ、そして第三ステージの実行段階への長い道のりでした。2年前に関東支部の研究委員会に家具部会ができ、研究テーマとして「テーブル/卓」がとりあげられました。椅子に比べ地味なテーブル、しかし身の回りを見渡せば、室内外を問わずそこにテーブルあります。テーブルは人の営みに欠かせない重要なインテリアエレメントの一つです。

研究は、さまざまな生活の場面や状況でテーブル/卓の果たす役割を検証し、そこから新たな「テーブル/卓」力を探り21世紀のライフスタイルのあり方を提案しようとする試みです。委員会では研究成果の発表方法として、展覧会と出版を核にした企画を練り、一昨年企画素案を(株)リビング・デザインセンターに諮ったところ、全面的な協力をいただくことになり本展の共催が正式決定し

ました。展覧会の開催決定をうけて、実行委員会が発足し、「Table Design」展が50周年のプレイベントとしてオールJID事業として位置づけられました。

■資金調達 協賛企業に対するアプローチ

今回の展覧会のような大きな事業(展示と出版)を成就するには、まず先立つものの見通しが立たなければなりません。つまり資金の調達です。それには協賛をお願いする関連企業の関心と理解です。言うまでもなく企画内容が問われることになります。そこで、本展の企画の主旨説明のために各委員が手分けしてface to faceのアプローチを行いました。悲観論、楽観論が交差する中で、企画内容が評価され多くの関係企業の賛同を得られ、比較的早い段階で目標値をクリアすることができました。それは、委員の献身的な努力の賜物ですが、確固たるモチベーションがあればできることを立証したともいえます。

■基礎データ収集のための市場調査

委員会では、一昨年7月から市場で調達可能なテーブルを中心に市場調査を行い、正会員及び賛助会員の皆さんに「あなたの推奨するテーブル/卓」のアンケート調査で選定協力をお願いしましたところ、58名の方々

オープニングパーティ

(株)リビング・デザインセンター 若宮社長 挨拶 川上理事長 挨拶

長岡実行委員長 挨拶

12/9日 オープニングパーティ



Table Design 展

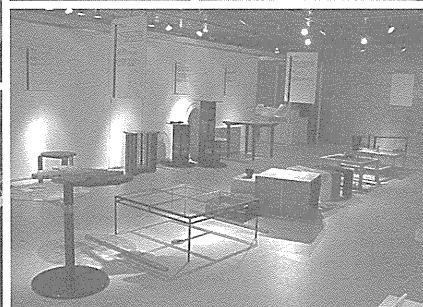
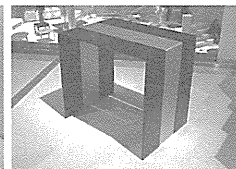
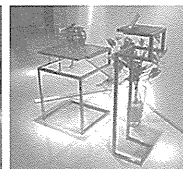
2006 11.9(木)-12.5(日)
JID Selection150 Table Collection



3F/OZONEプラザ・JID Selection150 Table Collection



3F/OZONEプラザ・ウィークエンドワークショップ



6F/ギャラリー・JID会員新作品 26「テーブル素材学」

から約 1000点におよぶテーブル／卓のデータが寄せられました。委員会ではこの膨大なデータを分類し基礎台帳ともいべき表を作成しました。皆さんから寄せられた貴重なデータをベースにさらにデザイン、素材、機能、機構、サイズ、用途、空間力など8項目の視点から、十数回討議・検証を重ね JID が選んだテーブル／卓「JID selection 220 Table Collection」として最終的に220点を抽出し、その内188点(新デザインを含め)が展覧会に展示されました。

■展示内容について (詳細は展覧会パンフ、別冊図録参照)

展示は、テーブル再発見「テーブルの数だけある、生活のかたち」をキーワードに、企業出展の JID selection 150 Table Collection と Table Visions、a「8人のテーブル・ビジョン」、b「変わるテーブル・変わらぬテーブル」、c「面白30脚競演」、d「テーブル素材学」の4つの切り口で新作38点がオゾンの6会場で展示されました。

また、会期中15回にわたりテーブルにまつわるワークショップとセミナーのミニイベントが開催され、おおよそ200余名の参加者で賑わい、展覧会を盛り上げたことは特筆すべきでしょう。

■出版について

出版は展示との連動企画として、重要な柱の一つでした。書名「Table Design」は展覧会と同時発行されましたが、委員会でテーブル／卓の専門書が少ないとの指摘と、2年猶予の研究の成果の総括として発行に踏みぎりました。主な内容は、Part1: テーブルの歴史と文化 Part2: JID 選定一近現代の秀作テーブル 220、Part3: テーブルデ

ザインノートの3部構成で編集されています。

また、展覧会の展示現場の写真速報を収録した図版集も別冊発刊しました。

展覧会が充実した内容であろうとも一過性であり、プロフェッショナル集団としてJIDの50年の歩みの中で、書籍のようなソフト(情報)資産の蓄積と公開こそが対社会に対する貢献であり責務との認識もありました。

■「Table Design」展の成果と今後の期待

以上簡単に展覧会の企画から実行までの要点とその推移をトレースしましたが、本展が生活者、空間デザインに携わるプロ、デザインを学ぶ若い人達に良質な情報を提供すると共に、今後のテーブル創りと、流通などに携わる関係者の起爆剤になることを期待すると同時に、JIDにとって「テーブルデザイン研究」の深度を深めるためのスタートとなれば幸いです。

最後に関係者のご協力と、長丁場のプロジェクトに忍耐強く奮闘した実行委員の皆さんに感謝とお礼を申し上げます。

この稿が皆さんの手に届く頃には、4週間におよぶ展覧会も閉会し(12月5日)、2007年の新年迎えていることでしょう。「Table Design」展がJID50周年に向けてのプレイベントとしてそれなりの成果があったと自負しています。

< Table Design 展 実行委員 >

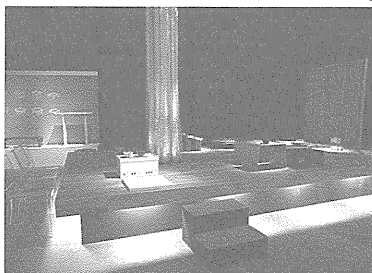
委員長: 長岡貞夫

秋山修治、海老沢宏、大野敬二、小澤盛男、小野由記子、小野上勝志、鎌田博子、川上信二、木村戦太郎、酒井正人、阪井良種、佐藤健一、萩原多恵子、日方一城、村元俊子、峰尾武、安竹麻智、山本棟子、(株)リビング・デザインセンター

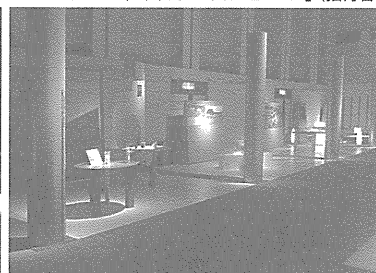
3F/ホール・デザイナーが見つけた くらしの中の「日本のかたち」



3F/ホール・「変わるテーブル・変わらぬテーブル」



3F/ホール・「8人のテーブル・ビジョン」(招待者)



3F/ホール・「面白30脚競演」



3F/ホール・近代テーブル秀作選



KANSAI KANTO
九州 CHUBU
JIDNEWSKYUSHU

JID九州から……

九州事業支部 事務局 前崎 弥生

皆様お元気でしょうか？

JID-KYUSYUでは、6月10日に平成18年度支部総会、第一回福岡例会「ミラノ・セミナー」も無事終了。

9月22日(金)には(財)大川インテリア産業振興センター主催の「華胥の夢博2006コンテスト」の審査に審査委員長として山永耕平理事が、審査委員として飯田一博支部長が参加しました。

役員会では、

- (1)「2007 or 2008 九州インテリアデザイン展」の計画
40周年事業との連携
 - (2)第2回学生ファニチュアコンペの計画
 - (3)社団法人インテリアデザイナー協会20周年事業への九州支部の参加事業について
「JID賞の巡回展」の九州開催について
 - (4)九州支部HPについて
- などなど審議がいっぱいです。

10月28日(金)に、第二回例会(福岡)開催しました。「茅乃舎見学と欧州研修会報告」と題して、目いっぱいのスケジュールでした。

福岡に6月にオープンした茅葺の家のレストラン「茅乃舎」さん(写真)の見学会。

そして、前賛助会員だったソーシャル環境開発内田氏が開発された福岡近郊の大型商業施設「トリアス久山」を見学し、最後はアダルさんで欧州研修会報告会を開催。報告者は学生研修にて欧州を見学された、山永耕平理事の「デンマーク、イギリス、フランスの新しい欧州の動き」また、ちょうど同じ頃(9月)デンマーク、ドイツエコツアーに参加した私、前崎(事務局)の「自然エネルギー研修ツアー報告」です。

写真は、今人気急上昇の<茅乃屋>さん。もともとは久原の醤油屋さん。社長の新たな試みが、こちらの茅葺のスローフードレストラン。

茅の準備にそうとう時間がかかったそうで、苦勞の甲斐あって最大の魅力的な「西日本で一番大きい茅葺のレストラン」になりました。

支配人は女性の方で、お忙しいにも係らず、建設経緯、社長のお考え、未来のお店像など丁寧に説明して下さい

いました。そのフレンドリーなお気持ちに感謝～しながら記念撮影。皆様一度九州へお越しの際は、お友達連れて是非どうぞ～。

ということで、アットホームな雰囲気では例会をやっています。九州例会にもどうぞご参加ください。



大分の青柳木工の江島会員、九州造形短期大学の飯田支部長、茅乃舎支配人、事務局前崎、九州産業大学の山永理事とご一緒に記念撮影。

KANSAI KANTO
KYUSHU 中部
JIDNEWSCHUBU

全日本インテリアデザインアワード展06

中部インテリアデザイン連絡会世話役
小宮 三辰・安藤 清



2005年愛知万博以降、中部はひきつづき元気オーラをいただいています。大方のインテリアショップが名古屋に出店され、いよいよインテリアの時代の幕開けです。昨年よりインテリアの各協会(5団体)が共有できるものは合同でと会合を重ね、初の展示会を10月25日から30日までデザインセンター・ギャラリーにて行いました。JIDビエンナーレ入賞作品・インテリアプランニング入賞作品・インテリアコーディネーター大臣賞を一堂に展示し、JID・CIP中部学生賞・CCDO入選作品も併設。400名の参加を得て若い方のインテリアへの興味を確信した。

JID中部ホームページがリニューアル!!

中部事業支部 原田 朱美

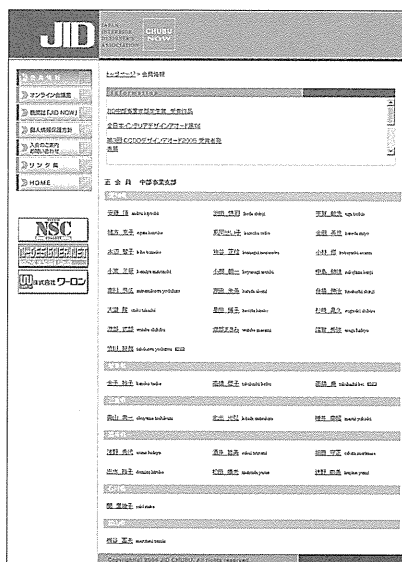
中部事業支部のホームページがリニューアルです。

今まで他人事(失礼!)としてしか見ていなかったJID中部のHPの、その担当者という重責を仰せ使い早、半年あまり…。毎月の連絡会などで会員の皆さんと真剣に打ち合わせてなんとか形になってきました。

今どき“ホームページ”はあって当たり前!の世の中になってきました。私たちのデザインの業界にとっても、もう欠かせない存在です。家具・ファブリクス・照明・建材、資材・エクステリア…etc ほとんどのメーカーさんのHPは一般ユーザー向けとプロ向けと分けてそれぞれに情報を伝えています。

では、実際には一般の人々がこのJID中部事業支部のHPを見てくれているのだろうか?…そして、この内容をどのように評価してくれるのだろうか?…

JID中部事業支部の会員情報は、すべての会員についてプロフィールはもちろんのこと、実は、作品や仕事の成果(施工例など)が画像で見られるようになっています。(これは当初からある、ちょっとした自慢です。)



で、更に、今回のリニューアルポイントとして、会員の最新の活動内容が分かるように、会員情報の中のインフォメーションで、常に更新していくようなくみにしました。また、JID中部はご存知の通り、愛・三・岐のひとつままとり、北陸という距離的には決して近くない双方が合わさって成り立っております。

なかなか、物理的な交流は難しいのですが、HP上でなんとかフォローしようと、以前の掲示板を使いやすくした、オンライン会議室を設け、会員相互でやりとりが出来るようなカテゴリーも作りました。

次のステップとしては、JID-ACT chubuとも連携して更に充実したHPにしたいと考えています。

JIDNEWSKANSAI



第7回 企業による新製品・重点商品説明会

関西事業支部 事業委員会 委員長 高瀬 守博

9月30日(土)、第7回「企業による新製品・重点商品説明会」を、リ・ニューアルされました DAIKO 電機様のショールームを会場に開催しました。いつもより少ない3社でしたが、その分内容濃く、新鮮でバラエティにとみ参加者から好評を得ました。以下、発表内容をご紹介します。



【旭興株式会社】

創業44年目の内装材メーカーで、石川県松任に自社工場があります。SEKO(セコー)ブランドとして全国の間屋から流通しています。今回皆様にご紹介させて頂くのは、『ノイエロヴ』…生産規模・技術・デザインのすべてにおいて、日本一を誇る織物壁紙を中心とした機能的自然素材壁紙シリーズと、『エトゥールエクル』…他メーカーにない斬新なコンセプトで大好評の輸入カーテンシリーズの紹介。

初参加でしかもトップ発表ということで緊張高まる中でしたが、新鮮な内容とハイ・グレードな製品と高評。

【サイレントグリス株式会社】

サイレントグリス(Silent Gliss)は世界で初めてアルミ製のカーテンレールを開発し、現在世界16カ国に17グループ企業を持つウィンドウトリートメントのトップブランドです。ほぼ全ての商品群に手引き、紐引き、モーター操作、カーブ仕様と取り揃え、著名な設計家やデザイナー、プランナーの方々などお客様の多様なニーズにお応えしております。他社では真似のできない独創性・ユニークな遊び心、クオリティの高さにきつとご満足いただけるはずです。

カーテンレールの機能と操作によるカーテンの形と彩光の変化と多様な施工事例が、デジタル映像で明解に紹介されました。

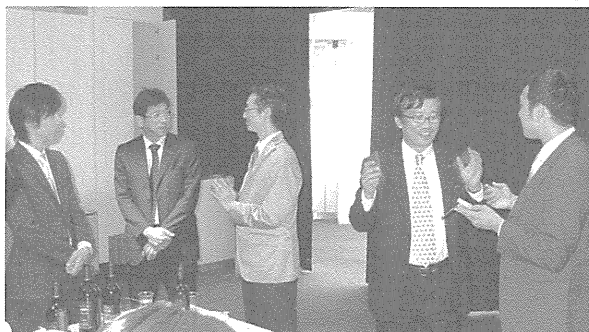
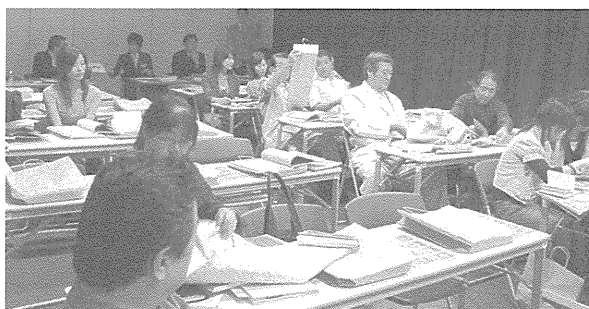
【大光電機株式会社】

LED・発光ダイオードもう耳慣れた光源名ですが、まだまだ使用・用途が未知数です。LEDをもっと活用することを考えます。

コスメカウンターやジュエリーショーケース。いままで見られなかったシーンで、ハイパワー LED による新たな演出が始まっています。

落ち着いたBARのテーブルトップや街角の遊歩道。インドアからアウトドアまで、フルカラーの鮮やかな色合いで、アクセント的に艶やかに、空間を染めます。

進化を続けるLED(発光ダイオード)の更なる活用方法の提案。ユーザー視点に立った「もっと」に応えるために、DAIKOの新しいチャレンジが紹介されました。

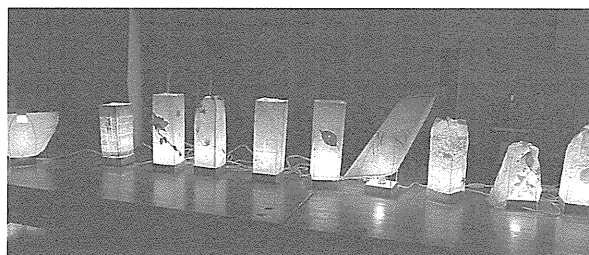


その後の「懇親会」では、DAIKO 電機さんからワインの差し入れもあり、豊富なお酒と適量の料理で、参加者全員盛り上がりました。

今回の説明会は企業及び新商品が新鮮で良かったと皆さん好評でした。4社ぐらいで、じっくり30分で発表してもらうのも良からうかと思えます。

次回は春需前の来年2月を予定しています。参加宜しく願います。

JIDA関西ブロックとのコラボレーションによる「あかりの体験学習」



カーテンを閉め暗くなった実習室に参加者全員が完成したばかりの“あかり”を持ち寄ってスイッチを入れると次々と歓声があがった。
(八十 常充)

10月15日(日)は大阪市立工芸高等学校をお借りして11月12日(日)には箕面東生涯学習センターでの2回、(社)日本インダストリアルデザイナー協会(JIDA)関西ブロック主催、こども夢プロジェクト体験学習・夢を形に! デザイナーってなあに? 「和紙を漉いて“あかり”をとます」に、JID 関西が協賛というかたちでコラボレーションを行いました。

小学生から親の世代まで幅広い参加者計約60名、始めに山崎講師から“あかり”についてのお話の後、奈良県吉野の福寅和紙5代目福西弘行氏から一人ずつ手を添えての紙漉きに挑戦し、オリジナル和紙を作成。



午後からは与えられたベースに出来上がったばかりの和紙を使って思い思いに木の枝や色紙、竹ひごや紐を使いスタンド照明に仕上げました。

完成後みんなの“あかり”を並べてスイッチ ON。灯がともるとみんなの喜びは最高潮...

もの作り体験の大切さを実感した1日でした。

尚、希望者は12月5日から11日まで神戸“北野工房のまち”で行われた「あかりメッセージ 2006」で展示されました。

JIDAとのコラボに参加して

(山崎 晶)

この様なイベントの運営についても協会それぞれの個性があって面白く感じました。

JIDならこうやるだろう・・・と思わせる場面もありIDのデザイナーとインテリアデザイナーのデザインに対する考え方の違いが伺えて、意義のあるコラボでした。

JIDAではIDと言うジャンルの中での行動の限界を見直す動きがある様です。

IDと言う枠を超えて他のジャンルとの共同作業が必要ではないか・・・IDと言うジャンルはなくてもいいのでは・・・と言う声も聞こえて来て。

改めてインテリアデザインとは何だ・・・と言う問題を併せて考えなければならない時代が来たと感じた次第です。ヒトゴトではありません。

村上太佳子氏、山口道夫氏、個展2題

小宮 容一

村上太佳子個展「祈りの形展 一庭と語る一」は、10月9日～22日の間、阪急宝塚線「雲雀丘花屋敷」からバスで10分ほど山に入った「満願寺・本坊」で開催された。本坊の庭に面した30帖程の広間、広縁に、村上さんが、以前から展開されてる、曲げ木で大振りの座面を持つ椅子が、5脚展示された。黒漆仕上げの和の雰囲気を持つ、低い座面の椅子は、私にはその大きな座面に胡座で座ってなんとも居心地の良いものであった。副題に「庭と語る」とあるが、真言宗の庭は、池、石、灯籠、傾斜地利用の植栽が肩の張らない庶民感覚で、村上さんの椅子の方が勝っていた。制作は天童木工。

山口道夫 作品展は、10月30日～11月4日の間、大阪市中央区のギャラリー ESPACE 446 で開催された。

山口さんは年に1回のペースで個展を開催され、そのパワーに感心するばかりである。今回の作品は、以前のものより明るい印象を受けた。いつもながら、和紙に染料で描かれているが、技術は謎である。中心から爆発的に飛び散る図柄は、動いているというより、ストップモーションの様に感じられる、それは、宇宙にビックバンとブラックホールが存在するが、ある時、我々はどこらに向かって行ってるの? と云う浮遊感覚でもあった。

「日本の空間デザイン2006」

関西デザイン界の師走を飾る5団体共催展を開催
八十 常充

年末恒例の「日本の空間デザイン 2006」が12月7日から12日まで大阪南港のATC(アジアトレードセンター)10階の大阪デザイン振興プラザ「デザインギャラリー」で開かれました。

この展覧会は関西の空間系デザイン(DDA、JCD、JID、KIPA、SDA)5団体の共催で各団体の年間賞を展示するものです。



JID では2006・JID 賞入賞作品のパネル展示の他に関西のデザイン系の大学に呼び掛けて、本年は大阪芸大短期大学部、京都芸大、成蹊大、飛騨国際学園、芦屋大、大阪産業大から55点の椅子&スツール、照明器具、ペーパーウェイト、時計などが出展され、その中から金賞：姜花瑛(カンファヨン)さん(京都芸大)、銀賞：山下真理恵さん(成蹊大)、銅賞：大西孝作さん(成蹊大)、奨励賞：奥真二郎さん(飛騨国際学園)、山根剛さん・瀬戸口アニタさん(共に成蹊大)の3名、とUSD-O会長賞：宮宇地 賢さん(大産大)、が選ばれました。会期の終わる12日に表彰式を行い、清家支部長から賞状と副賞が授与されました。

IPEC2006にJIDブース出展

関東事業支部 事業委員会 佐藤 健一

去る11月22日から25日まで東京ビッグサイト西館にIPEC2006・JIDブースを出展いたしました。

予算も無いことから21日のブース設置は事業委員会メンバーが手弁当でカットिंग文字やポスターを貼ったりしました。またガラス展示台は浜新硝子株式会社より協賛提供していただいたものです。

今回はJIDの広報活動として、期を同じくして新宿オゾンで開催されているテーブル展の宣伝とテーブル展記念本及び会員ワーク集の販売を主目的とし、合わせてJIDの入会案内などを陳列しました。

テーブル展のチラシは全て無くなり、関東支部から全会員に贈呈したテーブル展記念本は13冊、ワーク集は8冊売り上げ、入会案内も何部か持ち帰られる事ができ、多少なりとも協会に寄与することができたと思います。



またプランナー協会主催の交流会では名古屋から上京されていた安藤清会員や4支部統括担当理事の村口峯子会員の顔も見え、人間工学でおなじみの小原二郎氏の建築学会賞を受賞したお祝いの言葉があり、もうすでに90才をむかえられたという小原二郎氏の挨拶では、日本におけるインテリアという言葉の起源からはじまり、インテリアコーディネーター、インテリアプランナーの誕生裏話などを聞くことができ、和やかな中で交流を持つことができました。

結城市訪問報告

関東事業支部 事業委員会

市町村支援事業プロジェクト 小野上 勝志

10月21日22日に開催された結城市のお祭りにお伺いしました。目的はかねてより当委員会がジョイントしている地元TMOやNPOとの情報交換です。あわせて当プロジェクトが以前ご提案した市街地活性化に向けた「電柱地中化実現」の看板および「日よけ幕企画」の実施を拝見し意見交換をしてみました。

昨今、市町村における中心市街地の活性化が叫ばれ「まちづくり三法」の施行に伴い経済産業省や各行政法人、地域の各団体が積極的に活動を始めております。



＜電柱地中化実現＞イメージ看板
デザイン: (社)日本インテリアデザイナー協会
発注元: 株式会社TMO結城



＜日よけ幕設企画＞商店街の店舗に設置（総数60店舗余）

私達インテリアデザイナーも意識を持ってまちづくりに参画し、デザイン活動の場として環境設計の担い手となっていく時代になったと言えます。

結城市とは引き続き「まちづくりの研究」を重ねて行きたいと思います。

事務局からの お知らせ

会員異動のお知らせ

※「会員名簿」該当ページをご訂正ください

◆正会員

会員番号0842 小野上 勝志 会員名簿・関東p.5
・FAX番号変更 Fax:03-3326-0553

会員番号0758 中曾 雄二 会員名簿・関東p.9
・事務所移転 〒151-0051 東京都渋谷区
千駄ヶ谷4-11-9 マインハイム201

会員番号0853 中山 智恵美 会員名簿・関東p.9
・Eメール変更 cn8@nifty.com

会員番号1227 松浦 千代美 会員名簿・関東p.11
・Eメール変更 c.matsuura@yuuinterior.co.jp

会員番号0412 村口 峯子 会員名簿・関東p.12
・勤務先住所 〒167-0022 東京都杉並区
変更(H19.1から) 下井草5-19-19 bourg35

会員番号0467 物部 嘉智子 会員名簿・関東p.12
・勤務先住所 〒154-0017 東京都世田谷区
変更 世田谷3-11-8 上町マンション1206

会員番号0985 酒井 哲美 会員名簿・中部p.14
・自宅住所変更 〒918-8108 福井県福井市春日7-5

◆賛助会員

会員番号3063 会員名簿・賛助p.27
立川ブラインド工業株式会社
・住所変更 〒108-8334 東京都港区三田3-1-12
・電話番号変更 Tel:03-5484-6100

会員番号3172 会員名簿・賛助p.27
株式会社トッパンコスモ
・FAX番号変更 Fax:03-5418-2526

本部事務局より会員の皆様へ

新年明けましておめでとうございます。

昨年は9月に事務局員の異動がありましたが、皆様のご指導のお陰で、引継ぎもスムーズに行われました。

又、11月～12月には「Table Design」展等あり、何かと行き届かない点も多く、皆様には大変ご迷惑をお掛け致しました。

新しい2007年は、各事業支部事務局の皆様のお力もお借りして頑張りたいと思いますので、よろしくご指導いただきたくお願い申し上げます。 本部事務局一同

今後のご発展とJID活動でのご活躍を期待しています。

新会員 紹介 正会員

- ①会員名 ②会員番号(支部) ③推薦者
④勤務先・事務所 ⑤自宅

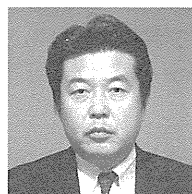


①太田 一彦
おた かずひこ

- ②1266(中部事業支部)
③小宮 三辰・安藤 清

④椅子工房 株式会社オオタ(家族の椅子)
〒467-0823 愛知県名古屋市瑞穂区津賀田町1-2
Tel:052-852-7451/Fax:052-852-7452
E-mail:k-ohta@isu.co.jp

⑤〒467-0054 名古屋市瑞穂区丸根町1-46
Tel/Fax:052-837-6852



①藤本 文明
ふじもと ふみあき

- ②1267(関東事業支部)
③泉 修二・川上 玲子

④サンエイコンサルティング
〒145-0071 東京都大田区田園調布1-10-26-101
Tel/Fax:03-3721-3484

⑤同上

新会員 紹介 賛助会員

※賛助会員数62社(平成18年12月現在)

株式会社ニッケコー

会員番号3190
〒424-0065 静岡県静岡市清水区長崎683-1
Tel:0543-44-3434/Fax:0543-47-5786
担当者:営業開発グループ主任 望月 茂
推薦者:土屋 晃一

JID news

企画・編集：本部情報委員会

JID News 担当理事 清家淳一

JID News 委員長 八十常充

// 委員 山崎晶

// 関東事業支部 佐藤健一

// 中部事業支部 小林修

// 関西事業支部 塚口眞佐子

// 九州事業支部 下田隆

——あとかき——

手元に過去の JID News の山がある。何冊あるのか、相当なボリュームである。捨てれば良いものの捨てきれない何かがこのファイルの山にはある。JID 会員であった歴史の証みたいなのが感じられて捨てられない。年会費を納めた証でもあって捨てられないのかもしれない。全部読んだわけではない。ツンドクだけである。事務局に行けば第一号から読めるのだらうけれど、なんとなく自分でも持っている。

確かにこれらは JID の歴史の記録に違いない。最近同類のデザイン協会がこの手の機関誌をメール化して配信するようになった。ホームページに載せて読みたかったら引っ張り出して読みなさい…という奴である。私にはこの行為がどうも苦手でめったに引っ張り出して読む気にならない。そういう人は多いと思う。プリントでカタチにしておくことも出来るが、どうも有り難味が薄い。記録としての性格も薄くなる。

機関誌なるもの定期的に印刷物のカタチで世間に顔を出していると世間は発行主の状況をそれで判断するものらしい。JID は元気ですねえ…という声をよく耳にする。協会存在の認知には定期刊行物が役に立っているのである。

創立 50 周年。ホームページの充実はさることながら、この手の印刷物の効用も無駄とか節約の一言で片付けないでほしいと思う年末。どうぞよいお年を…

山崎 晶

No.234

発行日：平成18年12月31日

編集デザイン：西尾直事務所
印刷：株式会社岡本印刷所